

このまち
このひと

田代地区でパソコン教室を営む

神谷聖子さん

Kamiya Shouko (田代)

「卒業生が気軽に帰ってこられる場所」であり続けたい。

「ただいま!」。子どもたちの元気な声が教室に響く。「おかえり。学校はどうだった」。神谷さんが笑顔で答える。

田代地区にある神谷さんのパソコン教室は、普通の学習塾とは少し雰囲気が違う。到着した子どもたちは席に座り、パソコンで好きなホームページを見たり、お絵かきソフトで絵を描いたり、自由に遊び始める。「まずは、パソコンに親しんでもらうことが大事なんです。自由に操作して、パソコンで何ができるのか、どんなに楽しいかを実感してもらおうです」。

神谷さんの言うとおり、子どもたちは本当に楽しそうに操作している。しかも見事なブラインドタッチ。打つのはかなり速い。「タイピングは基本中の基本。みんな、それまでのくせがないからすぐに覚えます」と子どもたちをほめる神谷さん。

休憩時間の雑談にも花が咲く。神谷さんと子どもたちは親子ほどの年齢差があるのに、会話は友達同士のように親しげだ。好きなアイドルの話や、夢中になっていること、ときには恋愛相談も受けるそう。

「わたしは子どもを子ども扱いません。一人の人間として、対等の立場で接して

ます」と、神谷さんと言う。その気持ちが子どもに伝わるからか、卒業後も電話やメールをやりとりする子が多いと言う。

「この教室を卒業したって、わたしたちはずっと友達ですから。いつでも相談に乗ってあげたいし、みんなの夢を応援してあげたい。大したことはできないけれど、何でも話せる友達がいるって、それだけで安心だと思うんですよ」。

卒業生の中に、現在パティシエ(洋菓子職人)の修行をしている子がいる。周りの友だちがタバコを吸っていても、その子は吸わないそうだ。

「『味覚が鈍るからね』という言葉聞いて、ああ、この子はすでにプロなんだと思いました。だからいつもその子に言っているんです。『あなたは絶対自分の店を持つことができるから、そのときはケーキ食べさせてね』って」と、照れくさそうに微笑む。

またある日、教室のパソコンを総入れ替えしたときのこと。

「卒業生から電話がきたんです。『今日、手伝いに行くよ』って。子どもたちが4人も来てくれました。卒業生だから新しく入ったパソコンを使うこともできないのに。『平気だよ』って、汗をかいてくれる子たちを見て、うれしくて涙が止まりませんでした。そんな素敵な子ばかりだから、わたしを慕ってくれる子たちには体当たりで接したいんです。この子たちが成長してどんな大人になるか、わたしの仕事はその証なんです。手なんか抜けません。いつも全力投球ですよ」。

子どもと同じ目線で接し、良き友人として、「卒業生が気軽に帰ってこられる場所であり続けたい」と力強く言う神谷さん。

「ただ子どもたちが大好きだから」と話す神谷さんが、一番子どもらしく、純粋な心の持ち主に見えた。

かみやしょうこ ●田代地区在住。1999年パソコン教室をオープン、今年10年目を迎える。これまでに約50人の子たちが卒業。右の写真の子は神谷小陽(かみやちはる)さん本中2年生。本年度パソコンGP全国大会(名古屋市)に出場。田代教室初の快挙とのこと。「緊張したけれど全国レベルを肌で感じることができました。先生のおかげです」と小陽さん。



☆お便り・作品を大募集 役場広報までどうぞ
◆このページは、町民の皆さんからの声で作るページです。いろいろなジャンルのお便りをお待ちしています。
◆文章は基本的に原文掲載ですが、スペースに合わせ若干手直しさせていただく場合があります。◆ハガキや作品・写真など、申し訳ありませんが返却できません。
ハガキ：〒428-0313 川根本町上長尾627
ファクス：(56) 2235
ホームページから：
<http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp>

みんなの 広場

my home town kawanehoncho



鈴木 香莉奈 ちゃん

すずきかりな 平成19年9月10日生
父：貴好・母：由理子 地名

あつという間に1歳だね。毛先のカールがキュートなかりな。いつもとびきりの笑顔でパパとママを癒してくれるよね。笑顔を大切に、明るく元気に大きくなーれ!



上野 日花吏 ちゃん

うえのひかり 平成19年9月5日生
父：充俊・母：奈世美 徳山

ひいちゃん、1歳おめでとう! 1年でずくずく大きく成長したね。これからたくさん思い出をつくっていこうね。ひいちゃんは、いつまでも家族の宝物だよ!

生まれてくれてありがとう
1歳になったばかりの「お友だち」をご紹介します

編集後記

▼真夏の暑さに別れを告げ、日に日に涼しさが増してきた今日この頃。夏の終わりは、いつもほんのちよつとの寂しさが伴います。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。▼今年の夏はいろいろなことを経験し学んだ季節となりました。休暇を利用して東北・北陸方面を訪問し、たくさんの広報担当者・元広報担当者とお会いしました。そこで得たもの。広報にかける情熱、誇り、勇気。そんなたくさんの心ももらいました。もう一度初心に戻って勉強し直します。
小笠原聡



今月の表紙

あなたは誰のことを思って、「空」を見上げますか。遠い地で暮らす親友や恋人のこと。単身赴任中のお父さんのこと。天国で見守ってくれるおばあちゃんのこと。またはカナダにいるホストファミリーのこと…。そんな大切な人を思うとき、誰もが自然と空を見上げます。あなたと、あなたが大切に思う「誰か」は、空を通してつながっているから。

www.town.kawanehon.shizuoka.jp

つぎはwebで

このほかにも、いろいろと。

広報紙に載せきれない情報やお知らせ、地域の話が満載の川根本町ホームページをご覧ください。

チラシ・カタログ・DM・自分史・カレンダー etc

松本印刷株式会社

島田営業所/島田市横井4丁目8番3号

電話 0547-36-5015 FAX 37-1823

眼科患者さん無料送迎致します。 島田眼科クリニック

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎致します。ご予約は電話にてお願いします。(当院に初めて受診される方もご利用いただけます。)

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
TEL：0547 (37) 0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜、第2・第4日曜日)